

2024 年度化学工学会関東支部若手の会 (ChEC-East) 講演会

「環境リスクと気象の予測」

主催 化学工学会関東支部若手の会 (ChEC-East)

本企画では、化学工学にまつわるさまざまな事象や話題をテーマにご講演していただきます。また、若手～中堅の研究者・技術者の交流の場を設けることで、化学工学における産学の関係の深化および連携を促します。今回は、「予測」を共通のテーマとして、今後様々な産業で重要となりうるアンモニア利活用のリスクと防災において重要な気象予報について2名の研究者にご講演いただきます。

◆開催概要

- ・ 場所：東京農工大学 小金井キャンパス（工学部） 4号館 3階 336室（最寄り駅：東小金井駅）
- ・ 日程：2024年12月20日（金） 14:00-16:30 予定（17:00 から懇親会）

※対面参加の方は下記にご参加いただけます。

14:00～16:30 講演会

17:00～19:00 懇親会（希望者のみ、詳細は別途ご案内）

- ・ 方法：先着 30 名（対面+オンライン<Zoom 使用>）
- ・ 対象：若手～中堅の研究者・技術者

◆講演 1

- ・ 講演テーマ：アンモニア利活用に伴う環境リスクトレードオフ評価
- ・ 講師：林 彬 氏（国立研究開発法人産業技術総合研究所）
- ・ 講演内容（林氏コメント）：

アンモニアは世界で2番目に生産量の多い化学物質であり、従来の肥料や化学原料の用途に加えて、近年、水素燃料としての用途が盛んに取り上げられ、低炭素社会の実現に期待が寄せられている化学物質でもある。本話題提供ではアンモニアの利活用における現状や動向、その利活用に伴う光と影について、私たちがこれまで取り組んできたいくつかの環境リスクトレードオフ評価事例を紹介する。この話題提供から、アンモニアにまつわる真実と課題意識について、みなさんと共有できれば幸いです。よろしく願いいたします。

◆講演 2

- ・ 講演テーマ：深層学習で切り開け！（切り開きたい・・・） ～降水予測・観測～
- ・ 講師：金子 凌 氏（千葉大学）
- ・ 講演内容（金子氏コメント）

豪雨災害は毎年のように発生し、多くの方が犠牲になります。また、経済的な被害も甚大であり、今後の地球温暖化の影響を鑑みても、精度の良い降水予測は非常に重要と考えられます。本講演では、深層学習モデルを用いた降水予測・観測の試みをご紹介します。私は2018年より深層学習と取り組んでいます、その苦難の歴史（？）も併せてご紹介しますので、お楽しみいただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

◆申込み

- ・ 参加費：無料 ※懇親会は別途案内

- ・申し込み締め切り：2024年12月5日（木）
- ・申込方法：Google フォーム（[リンク](#)） ※アクセスできない場合は下記問合せ先にご連絡ください。

◆プログラム

14:00-14:05 開会の挨拶（東京農工大学 利谷）

14:05-15:10 講演1「アンモニア利活用に伴う環境リスクトレードオフ評価」

（林 彬勅 氏 国立研究開発法人産業技術総合研究所）

15:10-15:20 休憩

15:20-16:25 講演2「深層学習で切り開け！（切り開きたい・・・） ～降水予測・観測～」

（金子 凌 氏 千葉大学）

16:25-16:30 閉会の挨拶（東京農工大学 利谷）

17:00-19:00 懇親会（会場は別途ご案内します）

◆講演会オーガナイザー

東京農工大学 利谷翔平

問合せ先 利谷（sriya@cc.tuat.ac.jp）